

各取組項目達成指標等取りまとめシート（点検評価書からの抜粋）

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(1) 救急・災害医療機能の強化

取組項目	参考ページ	令和元年度の主な取組内容	成果指標名	成果指標 数値	成果指標 の評価	評価の理由と今後の方向性	元年度の 達成度	進捗 状況	
川崎病院									
① 救命救急医療の充実	資料1-5 1~2	①救命救急センターの安定的な運営及び体制強化に向けた救急医及び救急救命士の安定的な確保 ②川崎市メディカルコントロール協議会等、市内関係会議への参加及び協力	三次救急搬送患者応需率	H30実績値	98.6%	3	・循環器疾患に係る救急車受け入れ拡大を目指し、循環器内科医師が直接対応するかわさきコロナリートホットラインの運用を9月から開始しました。消防署への訪問を行い、救急隊に向け周知を行いました。 ・救急自動車搬送受入台数は新型コロナウイルス感染症の影響もあり減少しました。しかしながら今後増加が予想される救急応需に対応するため、医療人材の安定的な確保を図るとともに、川崎病院医療機能再編整備による救急受入体制の強化に取り組みます。 ・引き続き、川崎市メディカルコントロール協議会等、市内関係者会議への参加及び協力を行います。	C ほぼ目標 とおり	II. 一定の進 捗がある
				R1目標値	98.1%				
				R1実績値	97.4%				
			救急自動車搬送受入台数	(R2目標値)	98.2%以上				
				H30実績値	5,916件	5			
				R1目標値	7,332件				
R1実績値	5,819件								
② 災害医療機能の維持	資料1-5 3~4	①派遣要請対応 ②各種訓練実施・参加 ③DMAT隊員の養成 ④患者に合わせた備蓄食料の拡充 ⑤災害時対応機能の拡充	災害派遣医療チーム等の派遣要請応需率	H30実績値	100.0%	1	・災害派遣医療チーム等の派遣要請応需率は、ダイヤモンド・プリンセス号に係る新型コロナウイルス感染症患者の搬送要請に対応し、搬送及びDMAT本部の活動を行いました。 ・9月に災害時医療対応訓練を実施しました。 ・各種訓練（政府訓練、市総合防災訓練など）に参加し、隊員の技能向上に努め、新たな隊員養成を予定しています。 ・備蓄用飲料水及び食品は消費期限に応じて入れ換えを行うとともに、患者さんの状態に応じた摂取しやすい食材への変更も進めています。 ・今後も継続して隊員の技能維持、養成、備蓄の強化に努めていきます。	B 目標を上 回って達 成	
				R1目標値	90.0%				
				R1実績値	100.0%				
			食料・飲料水・医薬品の院内備蓄確保量	(R2目標値)	90.0%以上				
				H30実績値	3日間分	3			
				R1目標値	3日間分				
R1実績値	3日間分								
① 救急医療（初期・二次）の強化	資料1-6 1~2	①川崎病院との連携による平日日勤帯の救急受入体制強化 ②職員の意識啓発に努め、救急搬送及びウォークイン患者の非応需率低下に向けた取組の推進 ③救急医療における院内トリアージの強化 ④事務職を含む全職員を対象とした一次救命処置技術習得への取組の推進	救急自動車搬送受入台数	H30実績値	2,367件	5	・4月から救急総合診療センターを開設し、川崎病院との連携により平日日勤帯の体制を強化しました。 ・開設当初、救急車応需数3394件を掲げ、救急需要が多い準夜の体制を強化する予定でしたが、準備に時間を要したため、4月と5月は応需数が低下しました。その後12月までの応需数は、2,614件を応需した平成29年度と同等の成果を上げましたが、新型コロナ対応のため応需数を大きく減らしました。年間応需数は、前年度を上回りましたが、目標には到達せず2,406件に留まりました。 ・当直における問題点を当直業務検討委員会と救急医療運営委員会で検討し、患者、事務員、医師のコミュニケーションを改善することにより、徒歩受診患者や問い合わせ患者への対応を向上させました。 ・救急医療における院内トリアージ強化に関しては、救急医療運営委員会にてWGを設置いたしました。 ・一次救命処置技術の習得に向けて、11月に全職員を対象とした「コールワンマスタ研修」を実施しました。引き続き、救急医療運営委員会にてWGを設置し対応していく予定です。 ・令和2年2月以降、救急科は内科や感染症内科と共にERでの新型コロナ患者の対応について整備し、円滑な受入に寄与しました。	E 目標を大 きく下 回った	III. 進捗が遅 れている
				R1目標値	3,394件				
				R1実績値	2,406件				
			救急患者数	(R2目標値)	3,500件以上				
				H30実績値	7,041人	5			
				R1目標値	9,100人				
R1実績値	6,845人								
② 災害医療機能の維持	資料1-6 3~4	①災害協力病院として災害医療対応能力の更なる向上と全職員の役割発揮を図るための災害医療訓練の実施 ②災害用備蓄品の計画的な入替えの実施 ③災害発生時の医療強化に向けたDMAT-L隊員の育成	災害拠点病院と連携した災害訓練の実施	H30実績値	実施	3	・9月に首都直下地震を想定した災害医療訓練を実施し、同日実施の大規模地震時医療活動訓練（政府訓練）に参加しました。院内からは93名が参加し、政府訓練としては、市中部地区のDMAT活動拠点本部を井田病院に設置し、名古屋掖済会病院をはじめ5病院のDMAT隊が活動しました。 ・港北区医師会（横浜市）からの要請を受け、9月に同区で実施された地域防災拠点訓練・医療救護隊訓練に、患者受入施設として保健医療圏を越えて参加しました。 ・備蓄用飲料水及び食品は、消費期限に応じて適宜入れ換えを行い、常時3日間分を確保しています。 ・神奈川DMAT-L隊員養成研修は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため、職員を派遣することができずでしたが、令和2年度は1隊を派遣する予定です。	C ほぼ目標 とおり	
				R1目標値	実施				
				R1実績値	実施				
			食料・飲料水・医薬品の院内備蓄確保量	(R2目標値)	実施（毎年）				
				H30実績値	3日間分	3			
				R1目標値	3日間分				
R1実績値	3日間分								
				(R2目標値)	3日間分				

取組項目(1) 救急・災害医療機能の強化

取組項目	参考ページ	令和元年度の主な取組内容	成果指標名		成果指標 数値	成果指標 の評価	評価の理由と今後の方向性	元年度の 達成度	進捗 状況
多摩病院									
① 救急医療 (一次(初期)・二次) の安定的な提供	資料1-7 1~2	①救急専門医、小児科医の安定的な確保 ②川崎市二次救急輪番制への参加	救急自動車搬送 受入台数	H30実績値	5,220件	1	<ul style="list-style-type: none"> 救急専門医、小児科医とも前年度と比較して増減はありませんでした。 24時間365日の救急医療と小児2次輪番救急医療の提供を積極的に実施し、救急自動車搬送受入台数は、5,727台と目標値を1,565台上回りました。この台数は開院以来最多です。また、救急患者数についても目標値を556人上回ったため、達成度をAとしました。 今後も、救急自動車搬送受入台数の確保及び救急患者数の受入れ確保を積極的に実施していきます。 	A 目標を大きく上 回って達成	I. 順調に進 捗
				R1目標値	4,162件				
				R1実績値	5,727件				
				(R2目標値)	4,200件以上				
			救急患者数	H30実績値	13,023人	3			
				R1目標値	12,700人				
R1実績値	13,256人								
(R2目標値)	13,000人以上								
② 災害医療 機能の維持	資料1-7 3~4	①災害派遣医療チームの隊員の増員 ②災害訓練の実施 ③備蓄品(食料、飲料水、医薬品)の適切な 補充・交換	DMAT隊員 養成研修 修了者数	H30実績値	9人	1	<ul style="list-style-type: none"> 前年度と比較して災害派遣医療チームの隊員は3名増員し、12名となりました。 10月に災害訓練を実施し、166名の職員が参加しました。また、部署別防災・災害訓練については全14部署において実施しました。 12月に行われた川崎市災害時病院連携訓練(北部地区)には、26名の職員が参加し、うち2名はコントローラーとして他病院に派遣されました。 2月に多摩消防署・多摩病院合同消防訓練を計画しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としました。 備蓄品については有効期限を確認し適時補充・交換を行いました。 結果、DMAT隊員が目標値より増員しましたので、達成度はAとしました。 今後も、災害派遣医療チームの隊員の増員、災害訓練・消防訓練の実施、備蓄品(食料、飲料水、医薬品)の適切な補充・交換を実施していきます。 	A 目標を大きく上 回って達成	I. 順調に進 捗
				R1目標値	8人				
				R1実績値	12人				
				(R2目標値)	8人				
			食料・飲料水・ 医薬品の院内 備蓄確保量	H30実績値	3日間分	3			
				R1目標値	3日間分				
R1実績値	3日間分								
(R2目標値)	3日間分								

取組項目(2) がん診療機能の強化・拡充

取組項目	参考ページ	令和元年度の主な取組内容	成果指標名	成果指標数値	成果指標の評価	評価の理由と今後の方向性	元年度の達成度	進捗状況			
川崎病院											
○ がん診療機能の強化	資料1-5 5~6	①神奈川県がん診療連携指定病院の継続 ②がん診療の充実・強化及び関係医療機関との連携・推進 ③PET-CTの運用開始	がん登録数	H30実績値 1,519件 R1目標値 1,320件 R1実績値 1,650件 (R2目標値) 1,350件以上	1	<ul style="list-style-type: none"> 神奈川県がん診療連携指定病院については、指定要件が令和元年に変更されましたが、令和2年3月に神奈川県によるヒアリングを受け、令和6年3月までの指定の更新を受けました。今後とも、指定継続のための取組を推進していきます。 がん診療に関する連携の推進、PET-CTの運用促進のため、広報資料を作成するとともに、医療機関訪問を積極的に行いました。今後も、これらの活動を継続し、がん診療の機能強化に努めていきます。 	C ほぼ目標とあり	II. 一定の進捗がある			
			神奈川県がん診療連携指定病院の指定	H30実績値 維持 R1目標値 維持 R1実績値 維持 (R2目標値) 29年度指定	3						
			がん手術件数	H30実績値 1,059件 R1目標値 1,140件 R1実績値 1,041件 (R2目標値) 1,160件以上	4						
井田病院											
① 地域がん診療連携拠点病院としての機能強化	資料1-6 5~6	①対策型検診と任意型検診の受診促進に向けた活動と受入調整 ②県内のがん拠点病院で構成する協議会、部会に出席・情報交換 ③がんサロン、ピアサポート、患者力を考える会等の実施	がん登録数	H30実績値 1,296件 R1目標値 1,262件 R1実績値 1,343件 (R2目標値) 1,300件以上	2				<ul style="list-style-type: none"> 院内がん登録の体制強化に向けて、システムの導入や医療事務職の活用など検討を行いました。 国の指針変更に伴う川崎市胃がん検診制度の見直しにより、内視鏡検診は平成30年4月から40歳以上を対象に2年に1度となりました。このため内視鏡検査件数は減少しています。また、令和2年4月からは50歳以上を対象に2年に1度となることから、今後も減少が見込まれるため、引き続き、市民公開講座や出前講座等による啓発活動にも積極的に取り組んでいく予定です。 がん手術件数については、地域がん診療連携拠点病院の指定要件である年間400件以上を達成するとともにほぼ前年並みの件数を確保しました。 患者やその家族をサポートするプログラムとして、医師や看護師、他の参加者と悩みや不安を自由に話することができる「がんサロン（月2回）」や臨床心理士のピアボランティアがお話を聴きする「ピアサポート（週1回）」、患者同士でよりよい医療へのかかり方などを話し合う「患者力を考える会（月1回）」、乳がん患者さんのための「ピンクリボンサークル（月1回）」等を毎月開催しました。 	C ほぼ目標とあり	II. 一定の進捗がある
			内視鏡検査件数	H30実績値 6,907件 R1目標値 7,318件 R1実績値 6,522件 (R2目標値) 7,700件以上	5						
			内視鏡治療件数	H30実績値 745件 R1目標値 711件 R1実績値 758件 (R2目標値) 720件以上	2						
			がん手術件数	H30実績値 554件 R1目標値 577件 R1実績値 573件 (R2目標値) 600件以上	3						
② 緩和ケアの推進	資料1-6 7~8	①緩和ケア科の医師を確保し、緩和ケアの外来、入院、在宅、救急ニーズへの適切な対応 ②緩和ケア科の初診を円滑に受けられるよう調整 ③在宅緩和ケアの積極的な実施・充実強化 ④地域医療従事者を対象に緩和ケア研修会を開催し、緩和ケアの普及・啓発の実施	緩和ケア患者の受入人数	H30実績値 474人 R1目標値 510人 R1実績値 538人 (R2目標値) 552人以上	2						
			訪問診療件数	H30実績値 1,196件 R1目標値 1,690件 R1実績値 1,072件 (R2目標値) 1,700件以上	5						
多摩病院											
○ 診療機能強化と報告の推進	資料1-7 5~6	①化学療法の積極的な実施 ②「地域がん登録」、「全国がん登録」への参加	がん登録数	H30実績値 602件 R1目標値 848件 R1実績値 522件 (R2目標値) 850件以上	5	<ul style="list-style-type: none"> 化学療法の積極的な実施については、化学療法件数は1,518件で前年度と比較して103件減少しました。 腫瘍内科を標榜して3年目を迎え、化学療法の件数は増加傾向にありましたが、今年度は消化器・一般外科の患者減等により減少となりました。 がん登録数は、522件と前年度と比較して80件減少しました。しかし、がん手術件数は、前年度と比較して若干ですが増加しました。 結果、がん登録数は目標値に比べ大幅な減少でしたが、がん手術件数は目標値を大きく上回りましたので、達成度はCとしました。 今後も、化学療法の積極的な実施、「地域がん登録」及び「全国がん登録」への参加を継続していきます。 	C ほぼ目標とあり	II. 一定の進捗がある			
			がん手術件数	H30実績値 397件 R1目標値 340件 R1実績値 398件 (R2目標値) 350件以上	1						

取組項目(3) 高度・専門医療の確保・充実

取組項目	参考ページ	令和元年度の主な取組内容	成果指標名	成果指標 数値	成果指標 の評価	評価の理由と今後の方向性	元年度の 達成度	進捗 状況						
川崎病院														
① 小児・周産期医療の確保	資料1-5 7~8	①近隣の周産期医療機関との協力体制の強化 ②周産期・小児医療サービスの向上 ③周産期メンタルヘルスケアの充実	周産期救急搬送患者受入件数	H30実績値 100件 R1目標値 120件 R1実績値 77件 (R2目標値) 130件以上	5	<ul style="list-style-type: none"> 「救急面の活動性」を表す「周産期救急患者受入数」は、目標には至りませんでした。近隣周産期医療施設との連携を今後も維持する方針です。 「周産期医療の地域的ニースの規模」を表す「NICU及びGCUにおける新規入院患者数」は、若干減少しましたが、今後分娩件数の大きな増加が見込まれていないことから、周産期救急関連の入院数を維持していくことが課題です。 	E 目標を大きく下回った							
			NICU及びGCUにおける新規入院患者数	H30実績値 302人 R1目標値 327人 R1実績値 282人 (R2目標値) 332人以上	5									
			分娩件数	H30実績値 897件 R1目標値 1,065件 R1実績値 923件 (R2目標値) 1,065件以上	5									
			② 内視鏡検査・治療の充実	資料1-5 9~10	①地域医療機関からの検査依頼受入れの拡充 ②内視鏡検査異常所見を認めた患者への適切な処置及び経過観察 ③膵・肝胆内視鏡検査の正確な診断と適切な治療の実施				内視鏡検査件数	H30実績値 8,491件 R1目標値 8,080件 R1実績値 8,113件 (R2目標値) 8,100件以上	3	<ul style="list-style-type: none"> 内視鏡検査件数については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり減少しましたが、内視鏡治療の実施件数については、増加傾向で目標値を達成しています。 胃がん検診の制度が変わり、令和2年度から大幅に検診件数の減少が予想されるため、高齢者増加による状況を鑑み、内視鏡検査の必要性を地域に啓蒙していく必要があります。 	B 目標を上回って達成	
									内視鏡治療件数	H30実績値 1,220件 R1目標値 1,090件 R1実績値 1,251件 (R2目標値) 1,110件以上	1			
									③ チーム医療の推進	資料1-5 11~12	①栄養サポートチームによる効率的な栄養管理の実施 ②栄養サポートチーム専任者育成のための認定研修会への参加推進 ③病院職員を対象としたNST研修会の実施 ④呼吸サポートチーム回診の実施 ⑤緩和ケア提供のための継続的な体制整備及び患者総合サポートセンターとの連携強化			
緩和ケアチームによる症状緩和実施患者数	H30実績値 203人 R1目標値 250人 R1実績値 173人 (R2目標値) 250人以上	5												
井田病院														
① チーム医療の推進	資料1-6 9~10	①緩和ケアチームによる症状緩和、カウンセリングなどの総合的な支援の実施 ②緩和ケアの研修及び教育の実施 ③神奈川県がん診療連携協議会・緩和ケア部会、学会などへの参加及び協力 ④緩和ケアチーム、栄養サポートチーム、褥瘡対策チームによる定例介入の実施	緩和ケアチームによる症状緩和実施患者数	H30実績値 462人 R1目標値 448人 R1実績値 536人 (R2目標値) 450人以上	1	<ul style="list-style-type: none"> がんサポートチームは1日平均20名前後のがん患者の症状緩和、全人的苦痛に対して支援を実施しました。緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会を実施するとともに、がん診療連携協議会緩和ケア部会では、がんサポートチームの活動内容のピアレビューを実施し今後の課題を共有しました。 栄養サポートチームでは、NST専従者交代に伴い、上半期は回診人数の調整を行いながら引継ぎ等を行っていましたが、下半期は積極的に介入を行いました。チーム内においては各病棟、各科持ち寄り定例的に症例の報告、検討を行い、資質向上に努めました。 今後とも緩和ケアチーム、栄養サポートチーム、褥瘡対策チームが連携し、積極的に介入を行っていきます。 	B 目標を上回って達成	II. 一定の進捗がある						
			栄養サポートチーム回診延べ患者数	H30実績値 1078人 R1目標値 1262人 R1実績値 1060人 (R2目標値) 1,300人以上	5									
			褥瘡院内発生件数	H30実績値 85件 R1目標値 115件 R1実績値 86件 (R2目標値) 115件以内	1									
			② 成人疾患医療の充実	資料1-6 11~12	①成人疾患医療の着実な実施 ②認定看護師を中心とした外来からの生活指導と療養支援の強化（禁煙外来・フットケア外来・在宅酸素外来など）				糖尿病教育入院実患者数	H30実績値 35人 R1目標値 30人 R1実績値 35人 (R2目標値) 30人以上	1	<ul style="list-style-type: none"> 糖尿病教育入院では1週間及び2週間の2種類のコースを行っています。糖尿病に関する知識の習得や糖尿病食を経験していただくほか、眼科や歯科受診をはじめ全身の検査も行っていきます。 医師の配置に伴い、婦人科において婦人科内視鏡外来及び女性健康外来を設置しました。 専門外来では、患者の医療ニーズに合わせた支援を行うとともに、患者一人一人に寄り添った診察となるよう配慮しています。 	A 目標を大きく上回って達成	
									専門外来の設置数	H30実績値 25 R1目標値 22 R1実績値 24 (R2目標値) 23	2			

取組項目(3) 高度・専門医療の確保・充実

取組項目	参考ページ	令和元年度の主な取組内容	成果指標名		成果指標 数値	成果指標 の評価	評価の理由と今後の方向性	元年度の 達成度	進捗 状況
多摩病院									
① 循環器内科における診療の充実	資料1-7 7~8	①循環器内科医の安定的な確保 ②心疾患領域における短期入院診療の充実	心臓血管系 造影件数	H30実績値	777件	4	<ul style="list-style-type: none"> 循環器内科医の安定的な確保については、循環器内科医師は平成29年度より1名減員の状況は変わっておりません。心臓血管系造影件数は前年度を109件下回り、目標値に対して71件下回りました。新型コロナウイルスの影響が大きいと考えられます。 心疾患領域における短期入院診療の充実については、目標値（240件）と同等の241件ですが、入院延患者数が6,112人（前年度比528人減）、外来延患者数が11,005人（前年度比1,813人減）でした。延患者数の減少については、新型コロナウイルスの影響が大きいと考えられます。 結果、心臓血管系造影件数、循環器内科入院・外来延患者数ともに目標値を下回りましたので、達成度はDとしました。 今後も、循環器内科医の安定的な確保、心疾患領域における短期入院診療の充実に努めていきます。 	D 目標を下回った	Ⅲ. 進捗が遅れている
				R1目標値	739件				
				R1実績値	668件				
				(R2目標値)	740件以上				
			循環器内科 入院・外来 延患者数	H30実績値	19,458人	5			
				R1目標値	19,797人				
R1実績値	17,117人								
(R2目標値)	19,800人以上								
② 脳神経外科における診療の充実	資料1-7 9~10	①脳神経外科医の安定的な確保 ②血栓溶解療法（t-PA治療）の実施 ③専門外来の継続	脳血管系 造影件数	H30実績値	95件	5	<ul style="list-style-type: none"> 脳神経外科医の安定的な確保については、脳神経外科医師の人数は前年度より1名増員となりましたが、脳血管系造影件数は前年度を25件下回りました。多摩区内に脳神経外科クリニックが開業したことや近隣に画像検査センターが増えたこと、新型コロナウイルスの影響が原因として考えられます。 血栓溶解療法（t-PA治療）の充実については、今年度は10件実施しており、前年度と比較して2件減少しています。また、脳神経外科入院・外来延患者数は入院延患者数が8,438人（前年度比384人減）、外来延患者数が5,065人（前年度比295人増）でした。原因としては前述の区内における診療環境の変化、新型コロナウイルスの影響が原因として考えられます。 結果、脳血管系造影件数及び脳神経外科入院・外来延患者数が目標値を下回ったため、達成度はDとしました。 今後も、脳神経外科における診療の充実を推進していきます。 	D 目標を下回った	
				R1目標値	219件				
				R1実績値	70件				
				(R2目標値)	220件以上				
			脳神経外科 入院・外来 延患者数	H30実績値	13,592人	5			
				R1目標値	16,300人				
				R1実績値	13,503人				
				(R2目標値)	16,300人以上				

取組項目(4) 医療機能の分化・強化、連携の推進

取組項目	参考ページ	令和元年度の主な取組内容	成果指標名	成果指標 数値	成果指標 の評価	評価の理由と今後の方向性	元年度の 達成度	進捗 状況
川崎病院								
① 地域医療連携の推進	資料1-5 13~14	①地域医療支援病院の継続 ②地域医療連携の会の開催 ③紹介元医療機関への返書等による情報交換の推進 ④病院・診療所等訪問の実施 ⑤PET-CT等検査機器の共同利用促進 ⑥県難病医療支援病院としての取組の推進	地域医療支援病院の承認	H30実績値 継続 R1目標値 継続 R1実績値 継続 (R2目標値) 28年度承認	3	<ul style="list-style-type: none"> 「地域医療連携の会」を9月に開催しました。前年度を上回る多くの医療機関等に御参加いただき、当院の取組状況等について、情報発信を行うとともに、医師の顔の見える関係を構築することで、地域の医療機関等との連携強化に繋がりました。 返書の実施状況を委員会等で確認し、返書を含めた情報交換の推進を図っています。 延べ212件の医療機関を訪問しました。川崎市内だけでなく、大田区、鶴見区の訪問も強化し、新たに連携登録医が50機関以上増加するなど、地域との連携関係強化に努めました。 検査機器の共同利用については、特にPET-CTの利用促進のため、令和2年度も近隣の医療機関へ積極的に訪問し説明を行う等、引き続き利用の推進に向けた取組を行ってまいります。 	A 目標を大きく上 回って達成	I. 順調に進 捗
			紹介率	H30実績値 68.7% R1目標値 50.0% R1実績値 71.3% (R2目標値) 50.0%以上	1			
			逆紹介率	H30実績値 79.8% R1目標値 70.0% R1実績値 92.5% (R2目標値) 70.0%以上	1			
			検査機器の共同利用件数	H30実績値 637件 R1目標値 480件 R1実績値 817件 (R2目標値) 500件以上	1			
② 地域包括ケアシステムの推進	資料1-5 15~16	①「地域ケア懇談会」の継続実施 ②地域の医療従事者を対象とした症例検討会や勉強会の開催 ③多職種協働による地域連携の推進	地域ケア懇談会開催数	H30実績値 2回 R1目標値 2回 R1実績値 2回 (R2目標値) 2回	3	<ul style="list-style-type: none"> 地域ケア懇談会は令和元年7月と令和2年2月に開催し、病院内外から合計205人の参加がありました。 勉強会、症例検討会を主催する診療科等における実施体制見直しなどにより開催回数が減少し、それに伴って参加者数も減少しました。 令和2年度においても、新型コロナウイルス感染拡大防止のため勉強会、症例検討会等の延期や中止が相次ぐ見込みですが、地域の医療機関との連携を強化する貴重な機会であるため、感染拡大の状況を見極めたうえで、開催及び参加の呼びかけを行ってまいります。 	D 目標を下 回った	
勉強会・症例検討会等への地域の医療・介護従事者等参加延数	H30実績値 1,125人 R1目標値 890人 R1実績値 670人 (R2目標値) 900人	5						
井田病院								
① 地域医療連携の推進	資料1-6 13~14	①地域の医療機関との連携を強化するため、クリニック訪問や意見交換・交流を目的とした地域連携の会を開催 ②地域の医療機関向けに外来診療表等を毎月送付及び、診療科の紹介冊子の作成 ③紹介状作成等について院内広報紙での周知や医師へのオリエンテーションの実施 ④地域の医療機関等を対象とした研修会の開催（地域連携相互交流学習会・認定看護師による出張講座・症例検討会等） ⑤退院前合同会議等による顔の見える関係作り	地域医療支援病院の承認	H30実績値 取組の継続 R1目標値 継続 R1実績値 取組の継続 (R2目標値) 29年度承認	5	<ul style="list-style-type: none"> 開業医訪問や地域連携の会等を通じて地域医療機関等との顔の見える関係を構築したことにより、紹介率・逆紹介率はそれぞれ向上しましたが、逆紹介率は目標に届きませんでした。 当院に二次検診を依頼していた企業等から依頼が減少したことにより、検査機器の共同利用件数は減少しました。 今後も放射線診断科や放射線治療科と密に連携を図り、予約方法の改善や待ち日数短縮等に取り組んでいきます。 	D 目標を下 回った	III. 進捗が遅 れている
			紹介率	H30実績値 56.9% R1目標値 50.0% R1実績値 58.3% (R2目標値) 50.0%以上	1			
			逆紹介率	H30実績値 55.6% R1目標値 70.0% R1実績値 57.8% (R2目標値) 70.0%以上	5			
			検査機器の共同利用件数	H30実績値 277件 R1目標値 779件 R1実績値 265件 (R2目標値) 800件以上	5			
② 医療依存度の高い患者に対する在宅医療の提供	資料1-6 15~16	①在宅療養後方支援病院の届出検討 ②がん末期、医療依存度の高い患者に対して、退院の時期を逸さないために、当院からの訪問診療導入のコンサルテーション機能の充実 ③症状悪化時の緊急往診の受け入れだけでなく、家族に対するメンタルケアの充実 ④病棟看護師による退院前後訪問の推進 ⑤地域医療部・病棟・外来の連携強化による退院支援の充実	医療依存度が高い患者に対する住診患者実数	H30実績値 142人 R1目標値 188人 R1実績値 176人 (R2目標値) 190人以上	4	<ul style="list-style-type: none"> 在宅療養後方支援病院の届出を行い、令和元年8月に受理されました。今後は、支援病院としての広報を行い、在宅からの緊急入院患者の受入を更に進めていきます。 緊急往診の受け入れをタイムリーに行い、翌日にはカンファレンスで情報共有を図るなど、患者や家族等の精神的な支援を適切に行いました。 外来・病棟・退院調整看護師等が連携し、退院前後訪問を効果的に行いながら、円滑な退院調整・支援に取り組みました。今後は、さらに栄養士や薬剤師等の多職種の連携を強化し、入院前から支援ができるように取り組む必要があると考えています。 	E 目標を大 きく下 回った	
			24時間連携登録医からの受入患者数	H30実績値 142人 R1目標値 191人 R1実績値 128人 (R2目標値) 200人以上	5			
③ 地域包括ケア病床の整備と運用	資料1-6 17~18	①地域包括ケア病床の充実 ②院外からの積極的な患者受入体制の構築 ③円滑な病床運営のための課題抽出及び対策の検討 ④多職種による患者受入会議の定期的開催	地域包括ケア病床の整備	H30実績値 継続 R1目標値 継続 R1実績値 継続 (R2目標値) 28年度整備	3	<ul style="list-style-type: none"> 毎週火曜日に多職種による地域包括ケア病棟受入会議を実施し、院内外からの受入患者の調整を実施しながら病床運用を行っています。令和元年度の病床稼働率は82.8%であり、目標値の85%を目指し今後も継続して病床運用を行ってまいります。 令和元年度から地域包括ケア病棟で院内デイサービスを開始しました。院内デイサービスでは、他病棟の患者も参加し、季節の催し物をはじめ、ラジオ体操や折り紙・塗り絵等のアクティビティ、嚙下りハピリを行っています。 	C ほぼ目標 どおり	
			地域包括ケア病床の病床利用率	H30実績値 83.6% R1目標値 85.0%以上 R1実績値 82.8% (R2目標値) 85.0%以上	3			

取組項目(4) 医療機能の分化・強化、連携の推進

取組項目	参考ページ	令和元年度の主な取組内容	成果指標名	成果指標 数値	成果指標 の評価	評価の理由と今後の方向性	元年度の 達成度	進捗 状況	
多摩病院									
① 地域医療 支援病院の運 営と強化	資料1-7 11~12	①登録紹介医制度の推進 ②検査機器等の共同利用の推進	紹介率	H30実績値	70.7%	1	<ul style="list-style-type: none"> 登録紹介医制度の推進については、川崎市医師会・歯科医師会と基本協定書を締結した医師を登録紹介医とし、緊密な連携を構築するよう活動しています。また、紹介率・逆紹介率は目標値を大きく上回りました。 登録紹介医は466人まで増加しました。 検査機器等の共同利用の推進については、目標値を下回りました。多摩区内に脳神経外科クリニックが開業したことや近隣に画像検査センターが増えたこと、新型コロナウイルスの影響が原因として考えられます。 結果、検査機器の共同利用件数は目標値を下回りましたが、紹介率・逆紹介率は目標値を大きく上回ったため、達成度はBとしました。 今後も、登録紹介医制度の推進・検査機器等の共同利用を推進していきます。 	B 目標を上 回って達 成	I. 順調に進 捗
				R1目標値	65.0%				
				R1実績値	72.2%				
			(R2目標値)	65.0%以上	1				
			H30実績値	53.0%					
			R1目標値	40.0%					
			逆紹介率	R1実績値	58.8%				
				(R2目標値)	40.0%以上				
				H30実績値	4,343件				
検査機器の共同 利用件数	R1目標値	4,745件							
	R1実績値	4,180件							
	(R2目標値)	4,750件以上							
② 地域包括 ケアシステム の推進	資料1-7 13~14	①在宅療養を支援するため、地域の訪問看護 ステーション等と意見交換を行う「多摩区・ 病院と在宅ケアネットワークづくりを目指す 会」の充実 ②地域医師会との懇親会の定期開催	地域関係施設との 連絡調整会議への 参加回数	H30実績値	20回	1	<ul style="list-style-type: none"> 「多摩区・病院と在宅ケアネットワークづくりを目指す会」の充実について、今年度は計5回開催しました。 地域関係施設との連絡調整会議への参加回数については、ケアマネージャー等との意見交換会や身寄りの無い患者さんへの支援に関する事例検討会など、その時々々の要請に応じた会議が加わり21回と目標値を大きく上回りました。また、有識者を参集して行われた連携会議等の回数は前年度と同じ6回と目標を達成しており、達成度はBとしました。 今後も、地域包括ケアシステムの推進に向け、多分野にわたる連携会議を積極的に開催し、参加していきます。 	B 目標を上 回って達 成	
				R1目標値	8回				
				R1実績値	21回				
			(R2目標値)	8回	3				
			H30実績値	6回					
			R1目標値	6回					
			有識者を参集して 行われた連携会議 等の回数	R1実績値	6回				
				(R2目標値)	6回				

取組項目(5) その他医療提供体制の強化

取組項目	参考ページ	令和元年度の主な取組内容	成果指標名	成果指標 数値	成果指標 の評価	評価の理由と今後の方向性	元年度の 達成度	進捗 状況	
川崎病院									
① 精神科救急医療の強化	資料1-5 17~18	①県精神科救急体制に対応するための県応需病床2床の円滑な運営 ②救急応需に必要な精神保健指定医、精神保健福祉士の確保 ③総合病院精神科の役割として精神疾患を有する身体合併症患者の受入れの実施（病棟連携、院内他科連携）	精神科救急患者受入数（三次及び二次のみ）	H30実績値	25人	5	・精神科救急患者受入数については、4県市協調体制の精神科救急システムを経由した入院であるため、当院でコントロールができるものではありませんが、前年度より減少し、目標値に達していません。 ・今後も患者の受入れが円滑にできるよう運用を続け、病棟連携の促進、県精神科救急体制との調整等を進めていきます。 ・精神科救急応需病床における平均在院日数は、精神疾患を有する身体合併症、発達障害、知的障害、認知症等患者の後方移送が遅れたことなどから、目標達成には至りませんでした。 ・しかしながら、神奈川県精神科救急医療システムの中で、基幹病院としての役割を果たすため、医療人材の安定的な確保等に取り組み、精神疾患を有する身体合併症患者の受入れを実施します。 ・今後も、救急体制が円滑に行えるよう、県及び他政令指定都市に協力していきます。	E 目標を大きく下回った	II. 一定の進捗がある
				R1目標値	28人				
				R1実績値	17人				
				(R2目標値)	29人以上				
			精神科救急応需病床(2床)における平均在院日数	H30実績値	20.4日	5			
				R1目標値	17.0日				
				R1実績値	20.7日				
				(R2目標値)	17.0日以下				
② 感染症医療の確保	資料1-5 19~20	①川崎市新型コロナウイルス等対策検討委員会への参加による診療体制確保及び周辺医療機関との役割分担の確認 ②検査所との合同患者受入訓練実施による対応方法強化、個人防護具の着脱訓練、及び感染対策や管理に従事する職員の育成	保健所からの要請に基づく二類感染症患者入院要請応需率（結核患者を除く）	H30実績値	要請なし	3	・新型コロナウイルスに対応するため、川崎市新型コロナウイルス等対策検討委員会に参加しました。 ・神奈川県新型コロナウイルス助成制度による簡易陰圧装置の申請を行いました。 ・東京検疫所川崎支所との合同患者受入訓練を11月に実施し、対応方法や個人防護具の着脱訓練などを見直し、実施方法を変更しました。訓練を通じ感染対策や管理に従事する看護師の育成に取り組みました。 ・2月以降厚生労働省・神奈川県・空港検疫所・川崎市から新型コロナウイルス陽性患者の受入要請が20件あり、ダイヤモンド・プリンセス号から11名、市内発生を9名受け入れました。	B 目標を上回って達成	
				R1目標値	100%				
				R1実績値	100%				
				(R2目標値)	100%				
③ リハビリテーション機能の強化	資料1-5 21~22	①新規採用職員の育成と臨時職員の増員 ②病棟との連携強化 ③病棟でのリハビリテーションの拡充	自宅等に退院した患者の割合（一般病床）	H30実績値	94.9%	3	・リハビリテーション実施単位数は、退職等により職員の確保ができなかったため目標値には至りませんでした。実施単位数には職員の能力も影響することから、引き続き適正なリハビリ処方の継続を行うとともに、新規採用職員の育成と、院内での連携強化を継続して行っています。 ・機能再編推進計画に則って、病棟でのリハビリテーション医療を積極的に推進していきます。	D 目標を下回った	
				R1目標値	95.4%				
				R1実績値	95.2%				
				(R2目標値)	95.4%以上				
			リハビリテーション実施単位数	H30実績値	78,135単位	5			
				R1目標値	89,000単位				
				R1実績値	73,466単位				
				(R2目標値)	89,000単位以上				
④ 医療機能再編整備の推進	資料1-5 23~24	①機能再編推進委員会を適宜開催 ②公募によるエネルギーサービス事業者決定、設計着手 ③救命救急センター棟増築・既存棟改修の設計着手	-	H30実績値	-	-	・「川崎病院医療機能再編整備基本計画」（平成30年3月）に基づいた事業を実施するため、必要な諸条件の整理や課題の検討等を進めています。検討等に当たっては、機能再編推進委員会を5、7、9、12、3月に開催し、改修対象診療科等に個別ヒアリングを実施するなど、院内の意見集約等を行いました。今後も引き続き、機能再編推進委員会を開催し、情報の共有及び課題の整理検討について進めてまいります。 ・エネルギーサービスについては、6月の公募、10月の評価委員会を経て、事業者を決定しました。その後、基本協定を締結し速やかに設計に着手しており、今後は設計の完了及びその設計に基づく工事に向けた準備を進めていきます。 ・救命救急センター棟増築・既存棟改修についても設計に着手しました。	C ほぼ目標どおり	
				R1目標値	-				
				R1実績値	-				
				(R2目標値)	-				
井田病院									
○ 井田病院再編整備事業の推進	資料1-6 19~20	①斜面防護等整備工事（4期工事）の推進	再編整備事業（3期工事）の推進	H30実績値	-	-	・斜面防護等整備工事は、平成30年4月に着手し、令和元年12月に工事を完了しました。	D 目標を下回った	III. 進捗が遅れている
				R1目標値	-				
				R1実績値	-				
				(R2目標値)	29年度工事完了				
			斜面防護工事の実施	H30実績値	実施	4			
				R1目標値	-				
				R1実績値	工事完了				
				(R2目標値)	30年度工事完了				

取組項目(1) 人材の確保と育成の推進

取組項目	参考ページ	令和元年度の主な取組内容	成果指標名	成果指標 数値	成果指標 の評価	評価の理由と今後の方向性	元年度の 達成度	進捗 状況	
川崎病院									
① 医療従事者の確保	資料1-5 25~26	質の高い医療・看護を安定的に提供していくため優秀な医療人材の安定確保を行っていく ①採用選考の適切な実施による、優秀な臨床研修医、専攻医の確保 ②大学医局等との連携による、常勤医の円滑な採用 ③看護師確保のための学校訪問やインターンシップ、助産師・看護師・その他医療技術職の学生実習の受入等の実施 ④医療事務職採用による専門能力の向上	職場に対する総合的な職員満足度 〔職員満足度調査〕	H30実績値	31.2%	5	<ul style="list-style-type: none"> 職場に対する総合的な職員満足度は、医療技術職で満足度の改善があったものの、全体としては前年度の同程度に留まり、目標を達成できませんでした。 レセプト査定率は、医療事務職による診療報酬請求事務の管理のもと、適切なレセプト点検を実施し、目標値を達成しました。今後も、精度の高いレセプト点検を継続し、査定率の向上に努めます。 臨床研修医及び専攻医の採用を適切に行いました。 大学医局等との連携により、常勤医師の採用や実習の受入れ等を適切に行いました。 	C ほぼ目標とあり	
				R1目標値	43.5%				
				R1実績値	31.3%				
				(R2目標値)	45%以上				
			レセプト査定率	H30実績値	0.37%	1			
				R1目標値	0.41%				
				R1実績値	0.33%				
				(R2目標値)	0.40%以下				
② 職員の専門能力の向上	資料1-5 27~28	①初期臨床研修プログラムによる初期臨床研修医の指導、育成の推進 ②在職医師への臨床研修指導医講習会受講の推進 ③地域包括ケアシステムに参画できる認定看護師の育成 ④各種医療技術職員向け研修受講の推進・支援 ⑤看護師の特定行為研修の受講による専門的な知識及び技能の向上	職場が「人材育成や能力開発に積極的である」と思う職員の割合 〔職員満足度調査〕	H30実績値	44.1%	5	<ul style="list-style-type: none"> 臨床研修指導医講習会は、受講料を当院が負担し受講を推進しており、今後も積極的な受講促進を行っていきます。 認定看護師については、人材育成計画に基づき派遣を毎年実施しており、令和元年度は認定看護師が2名増加しました。 その他の職員についても、院内研修会や看護協会、各種学会等が開催する研修会へ参加し、専門職としての能力の向上に努めています。 今年度は、2名の認定看護師が特定行為研修を受講し、修了して部署の中で活動を始めました。今後も、医療のニーズに合わせた専門的知識や技術を習得し質の高い看護の提供に努めていきます。 	C ほぼ目標とあり	III. 進捗が遅れている
				R1目標値	58.5%				
				R1実績値	48.6%				
				(R2目標値)	60.0%以上				
			認定看護師の人数 ※()内は井田病院との合計	H30実績値	31(47)名	1			
				R1目標値	26(45)名				
				R1実績値	33(49)名				
				(R2目標値)	27(47)名				
			研修医1人あたりの指導医数	H30実績値	3.1名	3			
				R1目標値	3.2名				
				R1実績値	3.3名				
				(R2目標値)	3.2名				
③ 働きやすい職場づくり	資料1-5 29~30	①働き方改革推進委員会によるワーク・ライフ・バランスを実現する働く環境の整備 ②医師事務作業補助者の拡充による医師の業務負担の軽減 ③子育て支援や非常勤嘱託職員等の活用など、多様な働き方の推進	「仕事と私生活のバランスがとれている」と思う職員の割合〔職員満足度調査〕	H30実績値	33.7%	5	<ul style="list-style-type: none"> 「仕事と私生活のバランスがとれている」と思う職員の割合は、目標達成にはいたらなかったもの昨年度の実績値より3%以上数値が向上した。 医師の働き方改革について、当院の考え方と患者さんへのお願いをホームページに掲載するとともに、院内に掲示しました。 医師事務作業補助者をさらに募集するため、ポスターを新たに作成し、掲示場所を増やしたほか、外来に設置している院内報に募集チラシを添付しました。今後も医師事務作業補助者の安定的な雇用に向け、新たな広告手法を検討します。 	E 目標を大きく下回った	
				R1目標値	43.0%				
				R1実績値	37.5%				
				(R2目標値)	45.0%以上				

取組項目(1) 人材の確保と育成の推進

取組項目	参考ページ	令和元年度の主な取組内容	成果指標名	成果指標 数値	成果指標 の評価	評価の理由と今後の方向性	元年度の 達成度	進捗 状況
井田病院								
① 医療従事者の確保	資料1-6 21~22	①採用選考の適切な実施による優秀な初期臨床研修医、専攻医の確保 ②大学医局等との連携による常勤医の確保 ③看護師確保のための学校訪問やインターンシップ、看護師等医療技術職の学生実習の受入 ④院外における就職説明会・学校訪問の積極的な参加 ⑤医療事務職の活用やDPC制度運用講座の開催による診療報酬請求事務の強化及び専門能力の向上	職場に対する総合的な職員満足度 〔職員満足度調査〕	H30実績値	31.6%	5	<ul style="list-style-type: none"> • 職場に対する総合的な職員満足度は、職種別では看護師の満足度が他の職種より低く、「人員は充足している」「業務量や忙しさに偏りが無い」等の項目において低い調査結果となっています。 • 大学医局等との連携や採用選考の適切な実施により、職員の確保に努めました。 • 医療事務職は平成30年度に引き続き3名が在籍しており、令和2年度はさらに1名増員の予定です。 • 全職員を対象としたDPC分析・診療報酬勉強会を年2回開催し、職員の知識の向上に努めました。 • レセプト査定率は、昨年度に比べやや減少しましたが、0.38%で、成果指標は5となり目標の達成には至りませんでした。井田病院の患者層の大多数は高齢者であることから、複数の疾患を有し、複合した診療が必要となるため、査定率が上昇する傾向があると考えられます。今後も査定減に関する取組として、保険委員会等で算定ルール等の周知を行うとともに、各診療科の状況に合わせた取組を進めてまいります。 	E 目標を大きく下回った
				R1目標値	46.9%			
				R1実績値	32.1%			
				(R2目標値)	50.0%以上			
			レセプト査定率	H30実績値	0.42%	5		
				R1目標値	0.13%			
				R1実績値	0.38%			
				(R2目標値)	0.13%			
② 職員の専門能力の向上	資料1-6 23~24	①人材育成計画に基づき各種研修会、講習会を積極的に開催 ②認定看護師の育成及び特定行為研修（在宅ケアプラン）への派遣 ③在職医師へ臨床研修指導医講習会受講の奨励	職場が「人材育成や能力開発に積極的である」と思う職員の割合 〔職員満足度調査〕	H30実績値	48.9%	5	<ul style="list-style-type: none"> • 人材育成計画に基づき認定看護師の派遣を毎年実施し、今年度は新たに1名が認定看護師の資格を取得しました。 • 特定行為研修修了者3名が在籍しており、令和元年度はさらに2名が研修を修了しました。令和2年度はさらに2名を養成する予定です。 • 指導医を確保するため、引き続き若手医師を中心に臨床研修指導者講習会の受講を推進していきます。 	E 目標を大きく下回った
				R1目標値	54.0%			
				R1実績値	47.8%			
				(R2目標値)	56.0%以上			
			認定看護師の人数 ※()内は川崎病院との合計	H30実績値	16(47)名	5		
				R1目標値	19(45)名			
				R1実績値	16(47)名			
				(R2目標値)	20(47)名			
			研修医1人あたりの指導医数	H30実績値	3.7名	5		
				R1目標値	4.9名			
				R1実績値	4.0名			
				(R2目標値)	4.9名			
③ 働きやすい職場づくり	資料1-6 25~26	①医師事務作業補助者の増員によるタスクシフトを積極的に推進 ②臨時的任用職員の任用などによる退職や産休・育休等に伴う欠員の減少	「仕事と私生活のバランスがとれている」と思う職員の割合 〔職員満足度調査〕	H30実績値	39.9%	5	<ul style="list-style-type: none"> • 働き方改革推進委員会を開催し、医師及び看護職員の負担軽減や他職種とのタスクシェアリング等について計画を策定しました。 • 医師の事務作業量の軽減を図るため、医師事務作業補助者の予算を平成30年度から7名増員して26名分確保していますが、全国的な人手不足から採用が困難な状況が続いており現在の採用人数は17名となっています。 • 臨時的任用職員の採用については、ハローワークやホームページ、各種広告媒体を活用して確保に努めています。 	E 目標を大きく下回った
				R1目標値	47.8%			
				R1実績値	38.6%			
				(R2目標値)	50.0%以上			

IV. 進捗が大幅に遅れている

取組項目(1) 人材の確保と育成の推進

取組項目	点検評価書 での頁	令和元年度の主な取組内容	成果指標名	成果指標 数値	成果指標 の評価	評価の理由と今後の方向性	元年度の 達成度	進捗 状況	
多摩病院									
① 医療従事者の確保	資料1-7 15~16	①病院実習生の受入れ ②病院見学・インターンシップの受入れ	基幹型臨床研修医の受入れ	H30実績値	7名	1	<ul style="list-style-type: none"> ・病院実習生（看護）に関する受入れについては14施設、実習受入れ人数は281人でした。 ・看護師の採用活動である学校訪問は4校、合同説明会参加は6回、多摩病院における病院説明会は17回実施しました。 ・看護師採用試験は21回実施し、看護師志望者の病院見学の受入は36人、インターンシップの受入は75人でした。 ・基幹型臨床研修医の受入れについては、前年度と比較して3名増の10名でした。 ・医師事務作業補助者の人数については、前年度と比較して1名増の17名となりましたので、25対1を算定しています。 ・職員の要望や苦情等を抽出、改善し、職員間の親睦を図るためのレクリエーション等を企画、運営しています。また、全職員に共通する教育・研修を企画し実施しています。 ・結果、基幹型臨床研修医の受入れ人数及び医師事務作業補助者の人数がともに目標値を上回ったため、達成度はAとしました。 ・今後も、基幹型臨床研修医の受入れ、医師事務作業補助者の増員を進めていきます。 	A 目標を大きく上 回って達成	I. 順調に進 捗
				R1目標値	7名				
				R1実績値	10名				
				(R2目標値)	8名				
			医師事務作業補助者の人数	H30実績値	16名	1			
				R1目標値	10名				
				R1実績値	17名				
				(R2目標値)	10名				
② 職員の専門能力の向上	資料1-7 17~18	①認定看護師取得のためのサポート ②診療情報管理士の安定的な確保	認定看護師 の人数	H30実績値	9名	1	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の認定看護師の人数は前年度から1名増え10名でした。また、専門看護師（家族支援分野）1名も勤務しています。 ・診療情報管理士の安定的な確保については、前年度から2名増えて16名となりました。引き続き「診療録管理体制加算1」を算定しています。 ・結果、認定看護師、診療情報管理士の人数について目標を上回りましたので、達成度はAとしました。 ・今後も、認定看護師及び診療情報管理士の増員を進めていきます。 	A 目標を大きく上 回って達成	
				R1目標値	9名				
				R1実績値	10名				
				(R2目標値)	9名				
			診療情報管理士 の人数	H30実績値	14名	1			
				R1目標値	14名				
				R1実績値	16名				
				(R2目標値)	14名				

取組項目(2) 医療安全の確保・向上

取組項目	参考ページ	令和元年度の主な取組内容	成果指標名	成果指標 数値	成果指標 の評価	評価の理由と今後の方向性	元年度の 達成度	進捗 状況
川崎病院								
○ 医療安全・院内感染対策の推進	資料1-5 31~32	①医療事故防止のためのインシデント・アクシデント報告の収集・分析及び院内周知 ②事故の根本分析による有効な改善策の提案 ③事故の再発防止と未然防止を目的とした研修会の企画・実施 ④院内感染対策への取組みとして、サーベイランスの実施、アウトブレイクの早期発見、ICT介入による早期終息 ⑤感染対策部会のリンクスタッフらによる手指衛生の向上に向けた取組の推進 ⑥院内感染対策講習会として、全職員向けに計9回の研修会を開催	体制の確保 (「医療安全対策加算1」及び「感染防止対策加算1」に係る診療報酬施設基準の届出)	H3O実績値	届出(継続)	3	C ほぼ目標 とおり	II. 一定の進 捗がある
				R1目標値	届出(継続)			
				R1実績値	届出(継続)			
				(R2目標値)	届出(継続)			
井田病院								
○ 医療安全・院内感染対策の推進	資料1-6 27~28	①医療事故防止対策・感染防止対策を推進し医療の質を確保 ②施設基準「医療安全対策加算1」、「感染防止対策加算1」、「AST加算」の届出継続を維持 ③医療安全対策・感染対策について、職員向け研修会の開催	体制の確保 (「医療安全対策加算1」及び「感染防止対策加算1」に係る診療報酬施設基準の届出)	H3O実績値	届出(継続)	3	C ほぼ目標 とおり	II. 一定の進 捗がある
				R1目標値	届出(継続)			
				R1実績値	届出(継続)			
				(R2目標値)	届出(継続)			
多摩病院								
○ 医療安全の強化	資料1-7 19~20	①医療事故の防止及び迅速な対応 ②医療安全対策に係る研修を受けた専門看護師等の配置 ③感染対策の十分な経験を有する医師・看護師等の配置 ④感染制御チームによる活動の推進	体制の確保 (「医療安全対策加算1」及び「感染防止対策加算1」に係る診療報酬施設基準の届出)	H3O実績値	届出(継続)	3	C ほぼ目標 とおり	II. 一定の進 捗がある
				R1目標値	届出(継続)			
				R1実績値	届出(継続)			
				(R2目標値)	届出(継続)			

取組項目(3) 患者に優しい病院づくり

取組項目	参考ページ	令和元年度の主な取組内容	成果指標名	成果指標 数値	成果指標 の評価	評価の理由と今後の方向性	元年度の 達成度	進捗 状況	
川崎病院									
○ 積極的な情報発信と相談体制の強化	資料1-5 33~34	①Wi-Fi設備の追加整備 ②訪日外国人旅行者受入れ医療機関としての施設の整備 ③外来モニターによるコンテンツの充実及び患者サービスの向上 ④ホームページやデジタルサイネージによる患者への情報発信 ⑤がん相談支援センターによる相談・情報提供体制の強化・推進	入院患者満足度	H30実績値	86.6%	3	<ul style="list-style-type: none"> ・外来北側エリアについて、Wi-Fi設備の追加整備を行いました。 ・電話医療通訳サービスや双方向通訳デバイス（ボケトク）を導入するなど、外国人対応医療機関としての環境整備を進めています。 ・患者への情報提供のために配布している国立がん研究センター発行の部位別のがんに関するパンフレット等について、配布場所を増やすなど、患者に情報が届きやすくなるよう取り組んでいます。 ・市民公開講座を開催し、大変好評であるため、令和2年度以降も、新型コロナウイルスの感染拡大防止に配慮しつつ継続して開催していきます。 ・入院患者満足度は、外来患者満足度と比べ全体的に評価が良好であり、課題であった「食事のおいしさ」や「献立」等食事に関する項目で評価が上がり、満足度が改善しました。 ・外来患者満足度は、「受付から検査・診察が始まるまでの待ち時間」に対する不満の割合が高い状況は続いておりますが、外来診察待ち状況の通知ができる患者向けスマートフォンアプリを一部診療科で導入しました。今後満足度向上に向けた対応策として、新設した2階の飲食スペースについて案内の工夫等を行い、患者サービス向上に取り組みます。 	D 目標を下回った	Ⅲ. 進捗が遅れている
				R1目標値	88.0%				
				R1実績値	90.1%				
				(R2目標値)	89.3%以上				
			外来患者満足度	H30実績値	76.2%	5			
				R1目標値	80.2%				
				R1実績値	68.0%				
				(R2目標値)	81.7%以上				
井田病院									
○ 市民に信頼される医療の提供と分かりやすい情報の発信	資料1-6 29~30	①市民公開講座や町内会など地域における医療に関する出前講座の開催 ②病院モニター会議の開催 ③外来休診情報の公開などホームページを活用した患者さんへの積極的な情報発信	入院患者満足度	H30実績値	90.5%	3	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な病気に関わるテーマを専門の医師等がわかりやすく解説する「市民公開講座」を5回開催しました。また、地域の町内会や老人福祉センター等へ出向き同様に解説する「出張講座」についても、年間で8回開催しました。 ・病院に対する御意見・御要望を広く聴取し、病院運営や患者サービス等に反映させることを目的として、第4期の病院モニターを5名委嘱しました。 ・6月から外来の休診・代診情報についてホームページへの公開を開始しました。 	C ほぼ目標とあり	Ⅱ. 一定の進捗がある
				R1目標値	91.0%				
				R1実績値	93.1%				
				(R2目標値)	91.3%以上				
			外来患者満足度	H30実績値	82.4%	3			
				R1目標値	82.3%				
				R1実績値	84.4%				
				(R2目標値)	82.6%以上				
多摩病院									
○ 分かりやすい情報提供と利用しやすい施設の強化	資料1-7 21~22	①医療相談センターにおける患者相談窓口の一元化 ②ホームページの内容の充実 ③市民健康講座の開催	入院患者満足度	H30実績値	84.9%	3	<ul style="list-style-type: none"> ・市民健康講座の開催については、新型コロナウイルスの影響で開催回数が前年度の6回から5回と減少しましたが、366人が参加しました。 ・満足度調査については、年2回実施しています。 ・結果、入院・外来患者満足度ともに前年度を上回りましたが、目標値を下回りましたので達成度はCとしました。 ・今後も、入院患者満足度調査及び外来患者満足度調査を継続し、市民の声に添えていきます。 	C ほぼ目標とあり	Ⅱ. 一定の進捗がある
				R1目標値	88.6%				
				R1実績値	86.4%				
				(R2目標値)	89.3%以上				
			外来患者満足度	H30実績値	73.5%	3			
				R1目標値	80.7%				
				R1実績値	79.1%				
				(R2目標値)	81.7%以上				

取組項目(1) 収入確保に向けた取組の推進

取組項目	参考ページ	令和元年度の主な取組内容	成果指標名	成果指標数値	成果指標の評価	評価の理由と今後の方向性	元年度の達成度	進捗状況
川崎病院								
-	資料1-5 35~36	①午前退院・午後入院の促進、診療科を超えた柔軟な病床管理、増大する救急やがん等の医療需要への積極的な対応など、入院患者数の増加、病床稼働率の向上等の取組の推進 ②未収金対策として、文書催告・電話催告、入退院時面談の実施強化 ③個室料金見直しの試行実施結果の検証を踏まえた利用促進の検討	医業収益の額	H30実績値 176.5億円 R1目標値 179.3億円 R1実績値 176.1億円 (R2目標値) 179.8億円以上	3	<ul style="list-style-type: none"> ・医業収益については、昨年度より減少しています。患者1人1日当たりの診療収入が昨年度と比較して増加しているものの、入院・外来患者の減少が影響しているものと考えられます。 ・患者1人1日当たりの診療収入については、昨年度と比較して増加しています。令和2年度についても診療報酬の適正な算定に努めます。 ・個室料金見直しの試行実施の結果、減免利用率の減少や患者の希望通りの個室料金の部屋へ案内がしやすくなり患者サービスの向上へつながりました。また、減免利用の減少によりベッド移動や床頭台の変更等も減少し、看護師の業務負担軽減に大きく寄与しました。来年度も個室料金見直しの継続と拡充を図っていきます。 ・総合入院体制加算取得に向けて、通院不要的退院率40%を目指して病院一丸となって取り組み、令和2年3月に達成しました。 	C ほぼ目標どおり	II. 一定の進捗がある
			入院患者1人1日当たり診療収入(入院診療単価)	H30実績値 62,979円 R1目標値 60,122円 R1実績値 64,897円 (R2目標値) 60,358円以上	2			
			外来患者1人1日当たり診療収入(外来診療単価)	H30実績値 14,085円 R1目標値 12,486円 R1実績値 15,294円 (R2目標値) 12,586円以上	1			
			病床利用率	H30実績値 71.3% R1目標値 76.5% R1実績値 67.4% (R2目標値) 76.5%以上	5			
井田病院								
-	資料1-6 31~32	①目標管理制度の活用による定期的な診療収入増加に向けた取組状況の確認 ②入院診療単価を引き上げるために、要手術患者の入院増加、平均在院日数の短縮 ③弁護士を活用した滞納債権回収の強化 ④午前退院・午後入院の促進など適切なベッドコントロールの実施及び地域包括・一般床・緩和・救急後方の各病棟における適正なベッド管理	医業収益の額	H30実績値 80.7億円 R1目標値 90.4億円 R1実績値 85.9億円 (R2目標値) 90.9億円以上	3	<ul style="list-style-type: none"> ・診療科毎に稼働額の目標値を設定し、収益の確保に取り組みました。令和元年度実績値では、前年度と比較し、外来では10%、入院では5%収益が増加しています。 ・入院収益では、DPC収入、出来高収入ともに前年度に比べて増加しています。DPC収入では、延べ患者数、単価ともに増加しており、出来高収入では、HCU入院患者の増加に伴う特定入院料や、手術単価の増加に伴う手術麻酔収入が増加しています。引き続き、手術単価を維持するとともに、効率的な病床運用に努めます。 ・外来収益では、延べ患者数は、昨年度に比べ減少していますが、診療単価の増加に伴い、収益は増加しています。内訳では、薬剤収入に限らず、手技収入、材料収入についても増加しています。 ・未収金対策は、川崎市債権対策実施要綱に基づき、未収発生から早期の段階で電話催告または文書催告を実施してきめ細かい対応を行っています。さらに弁護士を活用することにより効率的に滞納債権の回収に取り組んでいます。今後も医療費滞納者に対する債権回収強化に努めていきます。 	C ほぼ目標どおり	II. 一定の進捗がある
			入院患者1人1日当たり診療収入(入院診療単価)	H30実績値 44,908円 R1目標値 48,268円 R1実績値 46,387円 (R2目標値) 48,613円以上	3			
			外来患者1人1日当たり診療収入(外来診療単価)	H30実績値 16,170円 R1目標値 14,549円 R1実績値 17,626円 (R2目標値) 14,607円以上	1			
			病床利用率	H30実績値 78.8% R1目標値 87.2% R1実績値 80.2% (R2目標値) 87.2%以上	4			
多摩病院								
-	資料1-7 23~24	①医療機能の充実・強化による診療収益の確保 ②精度の高い診療報酬請求 ③未収金督促・催告の強化	医業収益の額	H30実績値 96.8億円 R1目標値 89.1億円 R1実績値 96.1億円 (R2目標値) 89.7億円以上	2	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機能の充実・強化による診療収益の確保については、上記「成果指標」の医業収益の額のとおり前年度を若干下回りましたが目標値を大幅に上回りました。救急搬送件数、手術件数が増加したこと、診療単価が上がったことなどが要因と考えられます。 ・精度の高い診療報酬請求については、レセプト委員会(医事課幹事)を定期的に開催し査定・返戻の状況を事例共有し、診療科ごとに発表、検討を実施しています。 ・未収金督促・催告の強化については、電話や文書による督促はもとより、未収金を増やさない努力として、ソーシャルワーカーや医事課職員の早期介入を行っています。 ・結果、医業収益の額・入院診療単価・外来診療単価・病床利用率の実績が目標値を上回っているため、達成度はBとしました。 ・今後も、診療収益の確保ならびに未収金督促の強化について取り組んでいきます。 	B 目標を上回って達成	I. 順調に進捗
			入院患者1人1日当たり診療収入(入院診療単価)	H30実績値 57,464円 R1目標値 55,643円 R1実績値 57,355円 (R2目標値) 55,800円以上	3			
			外来患者1人1日当たり診療収入(外来診療単価)	H30実績値 13,556円 R1目標値 11,677円 R1実績値 14,349円 (R2目標値) 11,700円以上	1			
			病床利用率	H30実績値 81.9% R1目標値 80.0% R1実績値 83.0% (R2目標値) 80.0%以上	3			

取組項目(2) 経費節減に向けた取組の推進

取組項目	参考ページ	令和元年度の主な取組内容	成果指標名	成果指標 数値	成果指標 の評価	評価の理由と今後の方向性	元年度の 達成度	進捗 状況	
川崎病院									
-	資料1-5 37~38	①医療機器の購入にあたり、保守契約を含めた入札実施の検討・促進 ②医療機器保守契約の見直しによる委託料節減（MEセンターと協力）	職員給与費対 医業収益比率	H30実績値	53.8%	3	<ul style="list-style-type: none"> ・薬剤及び診療材料の価格交渉の実績がある業者とアドバイザー契約を結び、納入価格の引き下げに取り組みました。 ・医療機器の購入においても価格交渉を強化するとともに、保守契約を含めた入札を4件実施しました。今後も経営企画室契約担当と連携しながら対象案件の拡充を進め、委託料の縮減に取り組んでいきます。 ・医療機器の保守契約に係る次年度の予算要求にあたり、MEセンターの協力を得ながら保守内容の見直しを進め、委託料の抑制を図りました。今後も随時見直しを進めていく予定です。 	C ほぼ目標 とおり	II. 一定の進 捗がある
				R1目標値	53.5%				
				R1実績値	54.8%				
				(R2目標値)	53.6%以下				
			委託費対 医業収益比率	H30実績値	13.9%	4			
				R1目標値	12.9%				
				R1実績値	14.1%				
				(R2目標値)	12.8%以下				
井田病院									
-	資料1-6 33~34	①各所属における医療機器保守業務委託の様見直し及び契約額の削減化 ②川崎病院との材料購入に関する情報交換・共同購入による経費節減の実施 ③無駄な在庫を持たないよう効率的な在庫管理を図り、経費節減の実施	職員給与費対 医業収益比率	H30実績値	61.7%	3	<ul style="list-style-type: none"> ・診療材料購入に関して、川崎病院との情報交換、ベンチマークシステムの活用等により、随時値引き交渉を行っています。単価契約を行うと、当初価格に1年間縛られ、他の病院より高くても交渉できなくなるため、価格交渉の余地がありそうな物品については、あえて単価契約を行わないこととし、個別の価格交渉を行い、更なる値引き交渉に取り組んでいます。また、より安価な同等品の使用など、診療材料の見直しを行っています。 ・前年度に引き続き、年2回（8月及び2月）、SPD（院内物流管理受託業者）と共同で、倉庫から払い出し後の使用状況の実地検査を実施し、使用期限のチェックや、各所属への注意喚起を行っています。また、払出しの定数の見直しは、随時実施していきます。 ・高額医療器械については、保守契約に加え、専用消耗品（試薬）についても合併入札を行い、競争による経費削減を図りました。 	C ほぼ目標 とおり	II. 一定の進 捗がある
				R1目標値	58.2%				
				R1実績値	60.7%				
				(R2目標値)	57.9%以下				
			委託費対 医業収益比率	H30実績値	14.4%	2			
				R1目標値	14.3%				
				R1実績値	13.5%				
				(R2目標値)	14.2%以下				
多摩病院									
-	資料1-7 25~26	①適正な在庫管理 ②業務効率化による時間外勤務の縮減	職員給与費対 医業収益比率	H30実績値	51.5%	3	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な在庫管理については、物流センターによる全部署の在庫見直しを毎年1回（6月）実施し、その他必要に応じて随時対応しています。 ・業務効率化による時間外勤務の縮減については、「職員環境向上委員会」において病院勤務医・看護師の役割分担の推進・負担軽減・処遇改善に係る計画を策定・評価をしています。 ・時間外勤務の管理については、部署毎に把握し、改善するよう注意喚起をしています。 ・今後も、適正な在庫管理ならびに業務効率化による時間外勤務の縮減の推進を実施していきます。 	C ほぼ目標 とおり	II. 一定の進 捗がある
				R1目標値	52.7%				
				R1実績値	52.7%				
				(R2目標値)	53.1%以下				
			委託費対 医業収益比率	H30実績値	14.1%	3			
				R1目標値	14.9%				
				R1実績値	14.2%				
				(R2目標値)	14.9%以下				

取組項目(3) 経営管理体制の強化

取組項目	参考ページ	令和元年度の主な取組内容	成果指標名	成果指標 数値	成果指標 の評価	評価の理由と今後の方向性	元年度の 達成度	進捗 状況	
川崎病院									
-	資料1-5 39~40	①経営会議による本計画の進捗管理の実施 ②病院幹部会議における病院経営状況等の報告 ③総合医療情報システムを用いた経営状況の周知 ④実現可能な施設基準取得への取組	「病院の経営に参画したい」と思う職員の割合 〔職員満足度調査〕	H30実績値	16.3%	5	<ul style="list-style-type: none"> 「病院の経営に参画したい」と思う職員の割合は前年度より増加しました。職員の意識が徐々に変化しているものと考えられます。 診療科別目標管理制度を実施し、毎月の幹部会議（運営会議）において経営状況を確認しています。引き続き経営意識の醸成を図るとともに指標の向上を目指します。 施設基準ワーキングを定期的に開催し、新たな施設基準取得に向け課題を明確化し、取得可能な施設基準については届出を実施しました。 総合入院体制加算の取得に向け、必要な課題をクリアするため、運営会議で周知を行い、病院全体で協力し取り組んでいます。 	C ほぼ目標 どおり	Ⅲ. 進捗が遅 れている
				R1目標値	28.5%				
				R1実績値	19.3%				
				(R2目標値)	30.0%以上				
			経営会議開催数	H30実績値	12回	1			
				R1目標値	10回				
				R1実績値	12回				
				(R2目標値)	10回以上				
井田病院									
-	資料1-6 35~36	①全職員を対象とした病院の運営方針や経営に関する勉強会の開催 ②診療科等に対する経営に関するヒアリングの実施 ③井田病院経営戦略会議の定期開催	「病院の経営に参画したい」と思う職員の割合 〔職員満足度調査〕	H30実績値	18.9%	5	<ul style="list-style-type: none"> 年度当初、全職員を対象に、病院長による「病院運営方針等説明会」を開催し、中期経営計画に基づく当該年度の病院としての重点取組項目（「がん診療の推進」「在宅療養支援の推進」「二次救急医療の体制強化」「地域医療連携の推進」「医療の質の向上」）について周知を行いました。 診療科やメディカルスタッフ部門等全39部署を対象とした病院長等幹部職員による経営等に関するヒアリングを実施しました。各部署においては、当該年度の行動目標及び行動計画を定め、取組を推進しました。 病院局、川崎病院、井田病院を結ぶテレビ会議システムが導入され、効率的な会議運営が図られました。 	C ほぼ目標 どおり	Ⅲ. 進捗が遅 れている
				R1目標値	36.3%				
				R1実績値	22.4%				
				(R2目標値)	40.0%以上				
			経営会議開催数	H30実績値	12回	1			
				R1目標値	10回				
				R1実績値	12回				
				(R2目標値)	10回以上				
多摩病院									
-	資料1-7 27~28	①幹部会議を通じた収支状況等の各職員への周知 ②経営戦略会議の開催	経営戦略会議 開催数	H30実績値	12回	2	<ul style="list-style-type: none"> 幹部会議を通じた収支状況等の各職員への周知については、年11回開催（8月休会）している管理運営会議において周知しています。経営戦略会議の開催については、平成27年度から、年12回開催し、目標値を上回ったため、達成度はBとしました。 	B 目標を上 回って達 成	Ⅰ. 順調に進 捗
				R1目標値	11回				
				R1実績値	12回				
				(R2目標値)	11回				